

Management Club Report

Feb.2023/Vol.242

Monthly Opinion 《ナレッジマネジメントの実践》

コロナ騒動もいよいよ一定の収まりを迎える時期が到来したようです。歯科医院経営者も含め多くの企業経営者にとっては、先の見えない霧の中からようやく抜け出し、明るい光が差し込んでくるような期待感が僅かながらも湧きだしてきているのではないのでしょうか。

歯科医院が、人々の健康ニーズに奉仕する仕事であると定義されるならば、医院経営の活性化は世の中の景気動向や経済状況と連動するものではありません。しかし、人の動きの抑制やそれに伴う経済の停滞が、人の気持ちの上に重しを乗せてしまうことを私たちはこの3年間のコロナ禍の下で実感してきましたが、その余波は間違いなく歯科医院への通院意欲にも及んでいたものと思われま

す。健康は大事だが、コロナ感染は避けたいとの意識は少なからずあったはずで

す。その重しがようやく取り除かれることは、歯科医院にも明るい材料となることは間違いありません。飛沫拡散の温床であるかのように一時言われた歯科医院ですが、歯科医院でのクラスター発生をほとんど耳にしなかったことは、その特性を考慮した日頃からの感染対策が効果的なものであったことの裏付けとなりました。このことは、これからも新たな感染症の発生が十分に想定される中、今まで以上に感染対策を講じていくことが市民からの選別眼の第一になるであろうことを示しています。

ようやく見えた光をしっかりと捉えるためには、今回の経験を活かした飛沫感染防止対策を断固講じた上で、本来の健康ニーズにいかにか奉仕していくのかを考えることが重要です。今年の私どもの活動テーマは、ここに焦点を当て、院内における多角的なナレッジワークを活性化して行くこととし、『ナレッジマネジメントの実践』といたしました。

1

付加価値を創造するナレッジマネジメント

ナレッジマネジメントとは何か

ナレッジマネジメントとは何か？2月前半のメールマガジンでも少し触れましたが、野村総合研究所の用語解説によると「知識を共有して活用することで、新たな知識を創造しながら経営を実践すること」とあります。いかがですか、歯科医院に絶対に必要な取り組みではありませんか？

歯科医院は技術の職場ですので、技術の向上を不断に目指すことが絶対に必要です。そのためには新しい考え方や知識や知見といったナレッジを常に高め